
バカとぶっ飛びシスターのBusy daily

秀吉組

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとぶつ飛びシスターのBusy daily

【Nコード】

N8919Z

【作者名】

秀吉組

【あらすじ】

文月学園にはバカの代名詞吉井明久以外にもう一人問題児がいた。その問題児の名は雑賀美桜、彼女の友人達は彼女のことを口を揃えてこう言った

学園一のセクハラクイーンと。

この物語はそんなセクハラクイーン雑賀美桜を主人公のドタバタラブコメディー……の予定？なお話

主人公設定とその他（前書き）

このお話は原作とは設定が違ったりおかしなところがあるかもしれませんがそれでも良かったら見てやってください）；；；（

波が好意を抱いている事を知り応援するようになる

女の子同士のスキンシップに何故か背後から胸を揉む癖がありその為友人達からはセクハラクイーンと呼ばれることもしばしば。だが本人は微塵も気にしていない

実家が喫茶店兼教会になっっているので家に帰るとシスター服に着替え、喫茶店の手伝いをしている
喫茶店の手伝いをしている内に料理の腕も上がりたまに一人で切り盛りしている時もある

また喫茶店のほうはバカ四人組がよく通って来るのでたまり場になっっており、美桜の女友達もたまにやっってきたりしている

常に伸縮自在のヨーヨーを二つ隠し持つており見た目とは反してかなりの破壊力と締め上げる力があるため鉄人に何度か没収されているがその度に新しいのを持つてくるので根負けした鉄人がやむ得ぬ場合以外は使用しないと約束させた

学力は真面目に勉強やればAクラスにも手が届く位にはあるのに本人が余りその気がなくC〜Dクラスの間位に位置している

得意科目は英語、世界史
苦手科目は日本史、古文

藤堂月谷とうどうつききや

性別 男性

中学の時に海外からやってきたが当時まだ日本語が上手く話せないでクラスになかなか馴染めず孤立しかけている美桜に話しかけクラスに馴染めるようにしていく内に仲が良くなりそして付き合うようになる

基本性格は穏やかだがつつこむときはつつこんだりとノリに乗ったりもしたりする

主人公設定とその他（後書き）

こんな主人公ですがよろしく願いします^^

第一話

カーテンの隙間から日差しが入りその日差しで深い眠りから目を覚まし時計を見るとそこには信じたくないけど非情の現実がそこにあつた

「ええええ！！遅刻だ〜……………」

慌ててベッドから跳ね起きると急いで制服に着替え寝癖を直しながら階段を降り下に行くとタバコを吹かせながらコーヒーを入れている牧師姿の人物を見つける

7

「お父さん！！どうして起こしてくれなかったの!?!」

「あのな、何度も起こしに行ったがそのたびにお前が適当に返事して二度寝してたからだろうが!」

「あ、そんなこともあったような…………、あああ…………もう時間ない！
いつてきまーす!…!」

用意されていた朝食のパンを口に挟んで急いで出ようとする

「っつて、こら！これ忘れて行くな！！」

そう言ってお父さんが投げたカバンを上手くキャッチすると全速力で学校に向かった

私が通う文月学園は桜が咲き誇っている坂を上がったところでありその坂がきつく、遅刻時にはそのきつさが倍増されるものだった

息を荒くさせようやく坂を上がり学園に入ろうとするとそこにはマフィアとみ間違えるようなガタイのいい大男がいた

えーと、マフィアって日本語だとたしかえーと・・・

「あ、ヤクザだ」と大男を指さしていた

「雑賀、人に向かって指を指してヤクザなどと言っな……やれやれ、もう一人の問題児が来たか……」

とヤクザ、じゃなかった西村先生が頭を抱えながら失礼なことを言っていた

「誰が問題児ですか！私のどこに問題があるんです？」

「新学期早々に遅刻してくる時点で問題があると思うのだが？」

「う、それは今日たまたまですよ……今日に限って目覚ましが止ちやって」

「遅刻常習犯がたまたまと言っても説得力がないぞ。あと女子生徒に猥褻行為を働いているだろうが」

「何が猥褻行為ですか！女の子同士ですしあれはスキンシップじゃないですか」

「背後から胸を揉みしだく行為をスキンシップとは呼ばんぞ……、全くお前が男なら間違いないく停学、最悪の場合退学も有り得るぞ……。まあいい、ほれ振り分け試験の結果だ」

そう言うと西村先生が懐から封筒を取り出した

「ありがとうございます、まあどうせFクラスでしょ？」

そう言いながら封筒を開けるとそこには「雑賀美桜Fクラス」と書かれてあった

「残念だったな雑賀、本当ならCクラス、いや真面目にやれさえすればAクラスさえ狙えたものを」

「まあ仕方ないですよ……まさか食中毒で休む事になるなんて思ってもみませんでしたし……」

振り分け試験の前日にお父さんの知り合いから送られてきたふぐちり鍋セットを家族で食べたところ何故か私だけ食中毒になり救急車にお世話になる事態にまでになった

そのせいで振り分け試験に休む目になった訳だ……

「そろそろチャイムが鳴るから急いで自分のクラスに行くように」

「わかりました、先生まだここに居るんですか？」

「そうだ、お前と同じもう一人の問題児に通知を渡さんといかんからな」

「大変ですね」

「そう思うなら少しは自重しろ、はあ……」

西村先生に頭を抱えながらため息混じりにそう言われてしまった……

「あはは……、それじゃあ失礼します……」

そう言って西村先生と別れ自分のクラスに向かって走り出した

今日から始まった新学期、果たしてどんなクラスメイトがいることやら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8919z/>

バカとぶっ飛びシスターのBusy daily

2011年12月28日00時51分発行